ビニペットの
東都興業株式会社
ヒロ
ビニペットEX

2022年（令和４年）
10月 7 日（金）
第1383号

園芸新聞®

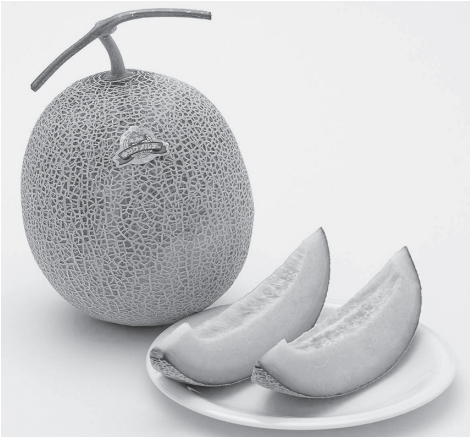
発行所
株式会社園芸新聞社
〒180－0001 武蔵野市
吉祥寺北町４－７－13
電　話　0422(51)8953
ＦＡＸ　0422(55)7187
発行人　前田 彰宏
購読料　1ヵ年 5,400円
振替 00130－2－85300

北海道キングメルティー会創立50周年

技術研鑽と会員交流で 北海道メロンの発展に貢献

北海道のメロン生産者を中心に活動を行っている北海道キングメルティー会が10月で創立50周年を迎えた。産地の垣根を越えた会員同士の情報交換によって栽培技術を確立していき、北海道メロンの発展に寄与してきた。今号では田中博行会長と亀渕貴史副会長、そして事務局の㈱大学農園、佐藤昌一社長のインタビューを紹介する。

同会が設立されたのは1972年（昭和47年）で、㈱大学農園（札幌市中央区北六条西16丁目）育成の青肉メロン「キングメルティー」が発表された機に、販路の開拓、栽培技術の確立、道内各産地との連携や情報交換を目的とした研究会を発足する気運が高まり、その年の10月に「サッポロメロン生産・出荷対策懇話会」が設立され、岩内郡協和町の神坂要治氏が初代会長に就任して活動がスタートした。「キングメルティー」は日持ちや食味の両面から東京市場を中心に大きな反響を呼び、栽培面積も飛躍的に拡大していく。その後名称を「北海道キングメルティー会」とし、近年はメロン生産者のみならず野菜生産者にも門戸を広げて活動が続いている。また平成8年には同会の活動を支援する目的で資材メーカーによる協賛会が発足している。毎年12月に定山渓で総会が行われているが、コロナ禍になってからは開催されていない。今年は50周年ということもあり、ぜひとも記念大会の開催をと、事務局が中心となって準備を進めている。



現在も販売されており、会を設立するきっかけとなったキングメルティー

㈱大学農園 佐藤昌一 社長

同会の事務局を担っているのが大学農園で、メロンやカボチャの自社育成品種のほか、各メーカーの種苗、ハウス資材、培土等を道内の生産者向けに販売している。なお、佐藤昌一社長は今年春の叙勲で旭日双光章を受賞している。

―大学農園は創立何年になりますか。

当社は先代の佐藤庫一が1956年（昭和31年）に創業して今年で66年になります。当時は春と秋に北海道と東北の生産者にカタログを郵送する通信販売をメインとした営業を行っていました。農家戸数も多かったし、近くに種を売っているところが少なかったので、業績が年々伸びていきました。そして昭和30年代後半になってから北海道でも野菜専業農家が出始めて、それと共にビニールハウスが導入されたり販売店も増えてきたこともあって、通信販売ではなく、道内の生産者や農協などをターゲットにした販売形態に変わって今日に至っています。

―佐藤社長が先代から事業を引き継いだのはいつ頃ですか。

先代が急に亡くなったため、昭和43年に社長に就任しました。まだ23歳頃だったので何もわからないうちに社長になりました。

大学農園 佐藤社長

大学農園 メロンの育成で大きく発展

―大学農園といえば、やはりメロンのキングメルティーですね。

メロンの育成は会社の大きな特長としています。キングメルティーやR113などの品種がありますが、品種改良も現在継続中です。あとはカボチャですね。黒皮の「札幌甘栗0106」や、「味マロンEX」といった品種を育成して道内の産地に向けて販売しています。「味マロンEX」は貯蔵性や食味が良く、道の優良品種に認定されています。

―キングメルティー会が今年で50周年を迎えました。

キングメルティーの発表を機に、共和町、月形、美唄、倶知安などの産地が参画されて設立されたわけですが、道内30カ所以上の地区から会員が集まり、最盛期には300㌶を大幅に超す栽培面積となりました。そして栽培技術の向上や統一された販売戦略等を目的とした総会及び研修会を毎年開催してきましたが、それによって道内の各産地間の交流も深まり、今日の北海道メロンの隆盛に多少なりとも貢献できたのではないかと思っています。残念ながら北海道メロンの栽培面積は減少していますが、メロンは北海道の夏の果物の王様であり、今後も重要な品目であることに変わりません。とくに近年はギフトや家庭消費向けのネット販売も好調で、需要増を図る取り組みも行っていかなければと思っています。

また、近年はメロン以外の野菜や、花き生産者の皆さんにも参加していただいております。50年も会が続いたのは歴代会長ならびに役員の方々、そして会員や協賛会の方々のご支援とご協力のお陰です。当社は今後も同会の活動を支えていきたいと考えており、今年の12月には50周年記念大会を定山渓にて開催する予定で準備を進めています。

がんばれニッポン農業!!
全野研推奨品・有機JAS対応
針葉樹木酢液
木紅木 キクノール®
土壌改良材
植物活性液
ph2.2～2.8
キクノールとキトサンで連作障害を克服する!!
30倍～500倍
水耕・養液栽培にも
100%純正
天候に左右されない土づくりと病害虫に負けない樹づくりで糖度・旨み・日持ちUP!!
有限会社 木紅木（きくもく）
福島県いわき市好間町上好間字大畑100
TEL 0246(36)5016㈹
FAX 0246(36)2314
http://www.kikumoku.co.jp
お問い合せはお気軽に! サンプル無料進呈中!!

耐久無滴農POフィルム
スーパーダイヤスター™
8年耐久
1 耐久性
●8年連続展張を実現しました。
●新配合剤の採用で更に（強度・透明性）が高まりました。
当社従来品(ダイヤスター) 比
●良好な透明性を保持します。
2 透明性
●新配合技術によりスッキリした透明感が向上しました。
当社従来品(ダイヤスター) 比
8年耐久
※地域、ハウス構造、気象条件によっては、耐用年数が短くなる場合があります。
耐久無滴散乱光農POフィルム
美サンラン™スーパーダイヤスター™
8年耐久
●散乱光となりハウス全体に光がゆきわたります。
●展張作業性に優れています。
●耐硫黄性は美サンランダイヤスターと同じです。
●無滴効果が持続します。
「マイナビ農業」にアクセス
スーパーダイヤスター マイナビ農業 検索
スーパーダイヤスターの記事を読もう！
3月9日から公開します。
三菱ケミカルアグリドリーム
本社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル
TEL.03-3279-6200 FAX.03-3279-6757
農業資材の情報が満載。
当社ホームページにおこしください。 https://www.mc-agri.co.jp

富良野市新富町
会長　田中　博行氏

北海道キングメルティー会

富良野市上五区
副会長　亀渕　貴史氏

道産メロン守り続けて半世紀

現在北海道キングメルティー会の会長は田中博行氏、副会長は亀渕貴史氏が務めており、いずれも富良野市内でメロン栽培を行っている。（取材日8月25日）

情報は皆で共有する

―田中会長はメロン作り何年になりますか。

「45年になりますが、その間いろんなことがありました。例えばもう25年以上前になりますが、厄介な病気が出てもうメロン作りが出来ないと思ったこともありました。メロンつる割れ病レース1，2yが北海道で初めて出たのが私の所と、元会長の東海林さんの所だったんです。メロンの台木試験をやっていてそこから入ってしまって。調べると原因は土壌病害のフザリウムで、1作目の時に何株か病気があったような気がするんだけれども、2期作は9割以上罹病してしまって、その感染力はすごかったですね。他産地でもすでに出ていたという情報もあったみたいですが、運がよかったのは病気が出てもそのことを隠さないでオープンにしたことです。なにしろ私たち農家だけでは解決出来ないことですから、病気を公表したことで試験場、種苗メーカー、大学農園さんが中心になって病気を回避する抵抗性台木を開発してくれました。しかし、公表したときは富良野の他地区からパッシングを受けました。風評被害が怖かったんでしょうね。でも私たちはオープンにしないと試験場も種苗会社も動いてくれないし、そのことによって被害がどんどん広がっていくよと、相当やり合った経緯があるんです。生産者によってはいまでも良い情報は他には教えたくないということがまだありますね。我々富良野はそれでは駄目だよということをずっと言い続けており、情報は皆で共有しようということにしています」

フィルムはアグリスターなど

―今年の状況はいかがですか。

「きょうから大学農園のR113の収穫が始まったところで、これはもう20年以上栽培しています。富良野は時期によって品種を使い分けていて、一番初めはメジャーなルピアレッドとティアラ、そのあと大学農園のR113Uと続き、最後がR113です。うちはハウスが40棟あり、フィルムは三菱ケミカルアグリドリームのアグリスターが多いんですけれども、いいフィルムですね。軟らかくて張りやすいし、丈夫です。内張りはほとんどがサンホットで保温力を高めています」

―45年もの間メロンを栽培されていますが、今後はどうされますか。

「私は今年70歳になり、体力的なこともあって今年は25棟での栽培です。需要もあるし出来ることならもっと作りたいんですが、労力は私ら夫婦と姉夫婦で皆70歳を過ぎていますし、全部のハウスを使って栽培することは無理になってきました。いままでよくやってきたと思います。メロンは機械化が出来ないからほとんど人海戦術で大変なんです。最近は自動換気装置が入って省力化にはなりましたけれども」

田中会長のハウス。フィルムは三菱のイースターやアグリスターを使用している

―この辺りは後継者が結構いるそうですね。

「それはいいことなんだけれども2世帯分の収入を増やすのは大変なんです。親と子が一緒に仕事をして収入が倍になるというわけではないし、そこらへんが悩みの種ですね。経営的に余裕があるところなら、世代交代してやっていけるんだけれども」

北海道農業の発展図る

―メルティー会が50周年を迎えました。

「12月の記念大会をなんとか開催したいと思っています。最初にお話したように、会員の栗山町の日原和夫さんは我々と同じように情報をオープンにされる方で、他産地の私たちにも知っている情報を全部教えてくれました。日原さんはニュージーランドへ行ってメロンを作ったり、国内外の産地へ視察に行って、そこでの情報も教えてくれ、本当にすごい人だなと思います。キングメルティー会にはそういった生産者がたくさんおり、いまは年1回しか集まることが出来ないんですが、今後も会員同士の交流を図って北海道農業を盛り上げていきたいと考えています」

（3面亀渕副会長）

ちょうど収穫が始まった大学農園育成の赤肉メロン「R113」

カトー動物質高級有機肥料

動物質有機肥料は、肥料分のほか、微量要素・アミノ酸・核酸・酵素も供給します。

◆ぼかし肥料の原料としてもお使い頂けます。

【特 徴】
＊各原料の分解特性を考慮して設計配合してあります。
＊長期間の穏やかな分解で無機化も緩慢ですから、肥切れや濃度障害も緩和されむらのない養分供給が図れます。
＊土壌微生物を活性化し団粒形成・保水性・通気性の向上等土壌環境を改善されます。
＊連用しても作物・土壌を選ばず悪化させることはありません。

強力新微生物改良剤　ネニソイル　地力保全研究会推奨　土こうじん

㈱加藤工業所　肥料事業部
〒322-0033　栃木県鹿沼市府所町 20
TEL 0289-65-3121　FAX 0289-65-3124
http://www.kato-industry.com

365日の換気（カンキ）を支える
安定の東都『青（ブルー）』。

BLUE ON SIDE
KANKIT101/104

ハウスサイド用巻上げ換気装置
カンキット® 101/104
KANKIT101 / 104

	奥行	開口幅	減速比
101	50m	1m	1：1
104	100m	1m	1：4

応援したい…農業が好きだから
東都興業株式会社
〒104-0031　東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テプコビル
☎03-3566-0210　https://www.toto-vp.com/

メロンは単価高で推移
亀渕副会長

亀渕副会長は富良野メロン生産者組合の組合長も務めており、メロン以外にもタマネギ、スイートコーンなどの栽培を行っている。「タマネギはいま9町ぐらいです。今年は植え付けも順調だったし、富良野は定期的に雨もあって潅水の準備もしたんだけれども1回も使わなかった。肥大もよくて豊作になりそうです。なにしろ去年はひどかったですからね。でも単価は過去最高だったので、収量減の単価高でなんとか終えた感じでした」

メロンハウスは育苗ハウス等を含めて90、100、130㍍のハウスが24棟ある。1作目でルピアレッドを栽培したあと、2期作ではR113を栽培しており、9月中旬から収穫が始まる。「昨年はメロンも過去最高に近い単価でした。ただやはり5月から6月にかけて天気悪かったので、収量減の単価高でした。今年はスタートから玉サイズも良かったですし、6月は前年比180%になりました。お盆前も前年比140%で前年並みの単価、そしてお盆を過ぎてから若干下がりましたが、それでも悪くない単価でしたから今年のメロン屋さんはお金になったんじゃないでしょうか。コロナの影響も最近はなくなって、ギフト需要も多かったり、観光客も徐々に戻ってきたので、業務筋の引き合いも強いです。全道的に物が少ないみたいで、富良野は去年よりも出荷量多いんですが、まだくれ、まだくれといった状況で全然間に合わないという状況ですね」

R113は秋作に最適だという

情勢の変化に素早く対応

フイルムは三菱ケミカルアグリドリームの塗布無滴農POの「アグリスター」や「イースター」などを展張している。「アグリスターは3年目ですが保温力もかなりあっていいなと思います。あとは透明度がどこまで維持出来るかですね」内張りは農ビを使用しており、保温力を高めている。

省力化のために大学農園から購入した自動換気装置を導入して、ソーラー電源で作動させている。「もうこれが入ってから本当に楽になりました。トルクあるモーターに替えてもらったので130㍍ハウスでも問題なく作動しています」労力は息子さんが3年前に就農したので現在の労力は家族3人とパート2人。「この規模ならなんとかなる人数です。息子はメロンの方もやっていますが、収穫は誰が見ても間違いなく収穫出来るというのをやらせていますが、もっといろいろおしえていかないと」

キングメルティー会50周年については、「メロン生産者の集まりから始まりましたが、いまはメロン以外の生産者も増えて、全道一円の農業者が集まる場はメルティー会しかないので、農業情勢や社会の変化に素早く対応し、生産者と協賛メーカー、そして大学農園の情報交換と交流の会にしていきたいと思います」

ソーラーで開閉機を作動させている

全国土の会第33回全国大会開催
11月９日東京農大・横井講堂で

全国土の会は11月9日に第33回全国大会を東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂でZoomオンライン併用のハイブリットで開催することになった。恒例となっている後藤逸男会長の基調講演「肥料価格高騰、今こそ全国土の会の出番だ！」のほか、特別講演として根の研究で著名な東京大学名誉教授の森田茂紀氏を招き、「作物づくりのための根のはなし（仮題）」が行われ、土と肥料の基礎知識に加えて作物の根を学ぶことが出来る。このほか地域土の会の支部報告（3～4支部）や賛助会員による商品紹介等も行われる。

コロナ禍で同会の活動も制限されていたが、3年ぶりの対面開催となり、多くの参加を呼びかけている。

対面とオンライン併用で

今こそ全国土の会の出番だ！

日時：11月9日（水）13時～17時
会場：東京農業大学世田谷キャンパス　横井講堂
プログラム：▽基調講演「肥料価格高騰、今こそ全国土の会の出番だ！」東京農業大学名誉教授・全国土の会会長　後藤逸男氏　▽特別講演「作物づくりのための根のはなし」東京大学名誉教授・元東京農業大学教授　森田茂紀氏　▽各地の地域土の会（全国土の会支部）から3～4支部の報告　▽賛助会員による商品紹介。
申込方法：申込みファーム（https://forms.gle/84Hq85oheNUwZYat7）にて申し込む。締切は11月2日（水）17時まで。
参加費：全国土の会会員1，000円、一般3，000円。対面（会場来場）、オンラインにかかわらず同一料金で、資料代込み。リモート参加の場合は講演資料PDFをメールで送付し、大会終了後に冊子を郵送する。△振込先▽①三井住友銀行（0009）経堂支店（597）普通口座7015801　②ゆうちょ銀行　店番（018）、口座：91395544　口座名（共通）東京農大発㈱全国土の会　トウキョウノウダイハツ（カ）ゼンコクツチノカイ

申込QRコード

特別公演
森田茂紀氏
プロフィール

1976年3月に東京大学卒業・同大学院修了、農学博士。東京大学、東京農業大学（2014年～2022年・厚木キャンパス）教授を経て、現在東京大学名誉教授。専門は作物根系の生態学。主な著書に「根の発育学」、「根のデザイン」、翻訳に「根の生態学」など。日本農学賞・読売農学賞・環境大臣賞などを受賞。根研究学会会長や日本作物学会会長を歴任。現在、国際根研究学会副会長。最近はエネルギー作物学の栽培と利用に取組む。

村田の苗は土づくりを基本とし
環境にやさしい手作り苗です!!

全国各地のＪＡ（支所を含む）のほかに問屋等 200 件余りの取引先への苗出荷を通して、生産者の方々の栽培を支えています。村田の苗は全国的に高い評価をいただき、数々の賞を受賞しています。

キュウリ接木苗 7.5 ㎝
本葉2～2.5 枚まで

ナス接木苗 7.5 ㎝
本葉 4.5～5.5 枚

育苗種類はキュウリ、トマト、ナス、メロン、スイカ、カボチャなど多種類に及びます。ここに示したのはほんの一例です。

トマト接木苗 9.0 ㎝
好評2本立苗

ピーマン苗 9.0 ㎝
本葉8～10 枚まで

ご注文はお近くのＪＡ、種苗店等を通じてご用命いただいています。
なお、お問い合わせは下記へ。

murata
（株）村田農場
〒791-0214 愛媛県東温市南野田734-1
TEL 089(964)7878　FAX 089(964)0406
ネットからのご注文も承っています。 http://muratafarm.co.jp

最高の苗作りをお手伝いします
TY育苗ポット培土
好評発売
果菜類、花卉、その他鉢上げ用
50ℓ入り
（製造充填時容量）

●7 つの微量要素（マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅・マグネシウム・モリブデン）入り。
●通気性・保水性・透水性に優れた「育苗培土」です。
●生育に最適な pH に調節してあります。
●軽量設計で作業性がアップします。

＜使用上の注意点＞
■最初に使用する際は、十分に灌水して下さい。
■栽培中は本品を乾燥させないようにして下さい。
■初期生育の肥料が入っておりますが、状況に応じて追肥を行って下さい。

【肥料添加量 mg/ℓ】

チッソ	リンサン	カリ	pH	EC
200	600	200	5.5～6.5	1.0 以下

スイカ・メロン・接ぎ木台木・小松菜
ハクサイ・からし菜・ニラ等の育種元
東洋農事株式会社
〒309-1127　茨城県筑西市桑山 2000-1
電話 0296(57)2225㈹　FAX0296(57)9712

ＪＡ新おたる　赤井川村農業振興センター

ミニトマト等の育苗と新規就農者の技術習得施設

北海道の赤井川村農業振興センターは、ミニトマト産地として全国トップブランドである仁木町のミニトマト苗など、ＪＡ新おたる管内の農産物の播種・育苗管理をメインとして行っており、そのほか新規作物の導入試験や新規就農者の研修施設としてＪＡ新おたるが管理運営を行っている。同センターの指田氏が施設の概要等について説明してくれた。

農業振興センター全景。ＪＡ新おたる管内の生産者に苗を供給する重要な役割を担っている

スーパーダイヤスターを展張

赤井川村は北海道の南西部に位置し、周囲を小樽市、余市町、仁木町、倶知安町に囲まれた緑豊かな村である。「ここではミニトマト、カラーピーマン、パプリカなどの播種・育苗管理を行っていますが、2月初旬からＪＡ新おたるの主力品目であるミニトマト（キャロルセブン等）の播種・育苗管理がスタートします」

７・２×50ｍの育苗ハウスが14棟（１棟のみ土詰めのハウス用）あり、フィルムは三菱ケミカルアグリドリームの８年耐久ＰＯフィルム、「スーパーダイヤスター」を令和２年度に２棟、令和３年度に３棟展張している。このフィルムは新配合剤の採用で強度と透明度における耐久性が高まっており、「赤井川村は風が強いところなんですが、展張をしっかりしていれば剥がされることはありません。今までとくに問題は発生していないし、苗が徒長するというようなこともありません」

遮光資材はしていないそうで、「北海道の気候も変わってきて、ミニトマト等の施設栽培では遮光資材を利用する人が多くなりました。病気のことを考えると遮光資材を利用した方が良いけども、収穫量等を考えるとはたしてどちらが正解なのかというところがあります。それから最近は散乱光タイプのフィルムを使う人も多くなりましたが、植物自体に対するストレスが少ないので栽培環境にもよりますが、このフィルムを使用することも良いのではないかと思います。植物生理学的にストレスを与えては駄目だと言われており、ストレスの影響にてしおれると気孔がどんどん閉じて開かない習癖があって、それを学習すると気孔が閉じてしまうし、防御態勢に入ることで生命維持を優先して光合成をしなくなる。だからストレスをかけずに栽培管理し育てるべきだという考え方ですね」

センターを管理する指田氏

張り替え時期を迎えたハウスは三菱のスーパーダイヤスターを展張

モニタリング導入を予定

農業振興センターではモニタリングの導入を予定している。「生産性を上げるには植物生理学の他にも、モニタリング装置のデータを読み解く勉強をしなければなりません。そのほかにもハウスのフィルムはＵＶカットにするべきなのか、遮光したほうがいいのか、といったようなことも理解しておくことが大切で、そういうことがわからずに漫然とやっていては駄目だと思います。モニタリング装置は導入したから収穫量が上がるわけではない、ある程度使用してデーターを読み解き理解して、日々の栽培管理で実践するには、時間はかかるけれども入れる価値はあるのかなと思います」

赤井川村は農業が主産業だが、若い人が育っているのか尋ねると、「うちは研修生が結構入っていて、去年は５組就農しています。今年はいなかったけれども来年２組就農する予定ですが、露地野菜をする人が少ないんです。実際、カボチャやブロッコリーなどの作付けは高齢化で減っています。最近はカボチャも加工用として箱詰めせずにコンテナ出荷出来るし、カボチャの収穫機も出てきたから、やれるんじゃないかなとは思っているんですけれども。私たちもお金になることを農家さんに提示して、一緒に考えながらやっていかなければと思っています」

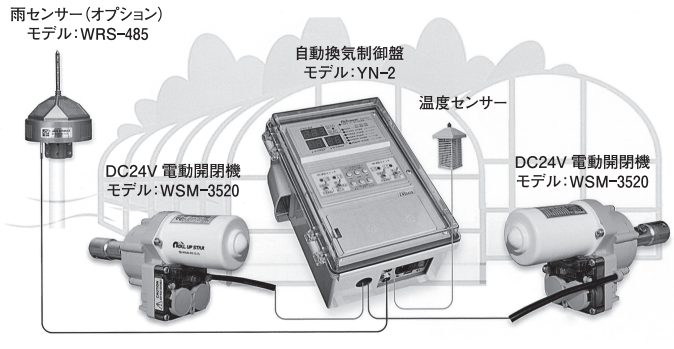
10月12～14日・幕張メッセ
農業Week まもなく開催

農業に関するあらゆる商品を展示して商談することが出来る第12回農業Ｗｅｅｋ２０２２（主催＝ＲＸ Ｊａｐａｎ㈱）がいよいよ10月12日（水）から14日（金）の３日間にわたり千葉県の幕張メッセにおいて開催される。

農業ロボット、ドローン、ＩＴソリューション、太陽光発電、植物工場システム、ハウス環境管理システムなどの「スマート農業ＥＸＰＯ」、施設園芸資材、農業機械、肥料、土壌改良材、農薬、育苗資材などの「農業資材ＥＸＰＯ」、食品加工機械、鮮度・衛生管理、検査・測定機器などの「６次産業化ＥＸＰＯ」、そして「畜産資材ＥＸＰＯ」の４展で構成される。展示会場で実際に見て、触れて一度に比較検討が出来たり、思いがけない製品を見つけて課題の解決、そして出展企業にその場で質問や相談、あるいは価格や納期の交渉等が出来る。

見どころとして、①初出展１５０社を含め計４５０社が出展、②農作業の省力化・効率化を実現する製品が多数出展、③今注目されている農福連携の野菜工場、あるいは完全人工光型植物工場の最新動向などのセミナーを実施。また特別講演では業界の最新動向として、みどりの食料システム戦略（農水省）、スマート農業の現状や未来についてなどの講演が行われる。新型コロナ感染対策として全参加者のマスク着用と体温測定、消毒液の設置、扉の開放や空調設備によ常時換気など、万全の体制で開催される。ホームページで無料招待券申し込み、出展社一覧やセミナー等の詳細情報を案内している。（農業ｗｅｅｋで検索）

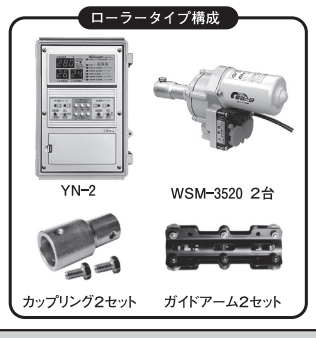
単棟ハウス用　ビニール巻上げ換気装置
SMART KIT!!



SMART KIT 自動換気システムは生産者の労力を軽減しさらに生産性を高めます！
人と作物に快適な環境を作りだします！

アームタイプ設置例

ローラータイプ設置例



製品特徴
・丈夫で長期間使用できます。
・設置や操作が簡単で、どなたでも取り扱えます。
・制御盤の管理プログラムにより、ハウスに最適な栽培環境を作り出します。
・大幅な省力化になり、投資費用も早期に回収出来ます。

オプション
雨センサー
モデル：WRS-485
3面立体感知方式
乾燥（発熱）技能
感度調節技能

WSH 友成HITEC
www.wandw.net/e-mail:top@wandw.net

販売代理店
＊九州地区：㈱J・K・Cアグロ（0965）46-0415
＊四国地区：石原和昭（個人）（087）898-5294
＊中部地区　：兼弥産業㈱　（0569）65-1256
＊北海道地区：㈱大学農園　（0167）22-8700
＊北海道地区：㈲矢野アグリ（0142）82-5366

農林水産祭の受賞者決まる

天皇杯
コチョウラン生産の㈲花匠（はなしょう）
花き業界全体に貢献する経営目指す

農林水産祭中央審査委員会（伊藤房雄会長）において、令和４年度（第61回）農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者等が決定した。表彰は勤労感謝の日の11月23日、明治神宮会館で開催する農林水産祭式典において行われる。園芸部門の受賞者および受賞理由は次の通り。

天皇杯　㈲花匠（滋賀県東近江市・代表＝川口正氏）出品材＝経営（コチョウラン）

○受賞理由

地域の概要

東近江市は、鈴鹿山系から琵琶湖に注ぐ愛知川や日野川の流域に位置し、近畿最大の耕地面積（８、４２０㌶）を誇る一大穀倉地帯であり、肥沃な農地と豊富な水を活かして米、麦、果樹、畜産、花きなど質の高い農業生産が行われている。

徹底した生産管理でコチョウランを栽培

受賞者の取組の経過と経営の現況

シンビジウムとコチョウランの２品目を生産していたが、平成17年にコチョウランの単品生産へと経営転換した。台湾で育苗し日本で育成するリレー栽培体系の確立や全自動環境制御設備を導入することで高品質周年栽培を可能とし、高収益を実現した。

受賞者の特色

（１）リレー栽培や全自動環境制御設備導入による生産性向上と高品質化の実現

フラスコ苗からの育成栽培から、花芽分化前の大苗を輸入する海外とのリレー栽培に切り替えることで育成期間を３年から６ヶ月に短縮した。さらに、労働力不足や気候変動に対応するため全自動環境制御設備を導入し、自ら制御プログラムを作り上げたことで、周年栽培を実現するとともに、株廃棄率を20％から３％まで低下させた。その結果、年間生産株数は10万株に達し、令和元年には平成28年に比べ総売上が約２・４倍、営業利益が約７・６倍に向上した。

（２）〝三方よし〟の精神に基づく経営方針

近江商人の精神である「売り手よし、買い手よし、世間よし」の〝三方よし〟の精神に基づき、花き業界全体に貢献する考え方を大切にしている。関西圏の花き卸売市場への出荷を主軸とすることで労力とコストの削減に努めるとともに、画像だけで購入を決める消費者や宅配に対応できない小売店の増加を受け、ネット販売用の写真の提供や配送業務の引き受けなど、時流を捉えつつ作り手として花き卸売市場や小売店のニーズに応えることで絶大な信頼を得ている。

普及性と今後の発展方向

滋賀県でトップクラスのコチョウラン生産を実現するとともに、農業高校や農大からの積極的な研修生の受入れや従業員の福利厚生の充実に力を入れてきた。こうした経営スタイルは、地域で花き生産に取り組む生産者の優良モデルになるとともに、農業界の働き方改革に貢献するものである。今後はパート従業員の正社員登用を進めるとともに、災害等による停電時でも自社だけでなく地域住民にも電力供給できるような体制整備を進めるなど地域に貢献していきたいとしている。

内閣総理大臣賞
万願寺甘とう部会協議会

大型の万願寺甘とう

内閣総理大臣賞　ＪＡ京都にのくに万願寺甘とう部会協議会（京都府綾部市・代表＝添田潤氏）、出品材＝経営（万願寺甘とう）

○受賞理由

地域の概要

綾部市は京都府の北部に位置している。京の伝統野菜「万願寺甘とう」は、綾部市のほか、舞鶴市、福知山市で栽培されており、３市が所在する中丹地域は京都府の中央部より北寄りに位置し、日本海側気候に属している。地域内の平地は、地下水位が高く粘質土壌が多いため、土壌改良を行った上で作物が栽培されている。

受賞者の取組の経過と経営の現況

平成22年に万願寺甘とう部会協議会を設立。「最上の万願寺とうがらし〝万願寺甘とう〟」をキャッチフレーズに、地理的表示（ＧＩ）登録や共選共販活動、徹底した種子管理によるブランド力の強化、ハウス栽培の積極的な導入や新規生産者の育成による生産力の強化を推進。これらの取組により、販売額は年々増加し、令和２年度には初めて４億円を突破。

受賞者の特色

（１）ブランド及び販売力の強化

ＧＩ登録を行ったほか、協議会で定めた選果基準と出荷規格に基づく厳格な検査などによりブランド力の強化を図ってきた。さらに、品種の他産地への流出を防ぐとともに種子の品質を保つため、協議会で種子全量を確保している。また、包装機の導入により袋詰め能力を強化し、量販店等との長期契約販売を増やすことで市況に影響されにくい価格形成を目指しているほか、部会員が経費の一部を負担し販促活動を強化している。

（２）産地としての生産力の強化

ハウス栽培の導入を積極的に進めるとともに、優良生産者の栽培技術を協議会全体で共有している。これにより単収は年々向上している。さらに、厳しい環境への対応と省力化に向けて、ＩＣＴ等も積極的に導入している。また、新規生産者が定着し、生産規模を拡大できるように技術講習などの育成活動に取り組んでいる。

普及性と今後の発展方向

「万願寺甘とう」は、「収益を上げられる」品目として認識されており、Ｕターン等の新規就農者の受け皿となっている。ＪＡや京都府と一体となって新規生産者の生産性を向上させ、販売力を強化していくことで、さらなる出荷拡大を狙えると考えており、１００年続く産地を目指している。

日本農林漁業振興会会長賞

日本農林漁業振興会会長賞　ＪＡ晴れの国岡山船穂町ぶどう部会（岡山県倉敷市・代表＝浅野三門氏）出品材＝経営（ぶどう）

○受賞理由

地域の概要

倉敷市は、岡山県南部に位置している。部会がある船穂町は海抜０ｍの低地水田地帯から標高１００ｍの丘陵地帯であり、気象条件は温暖、穏やかで、年間降水量が少なく、年間日照時間が２、００１時間と多い、ぶどう等の施設園芸に適した地域である。

受賞者の取組の経過と経営の現況

昭和22年にぶどう部会を設立し、昭和26年にマスカット・オブ・アレキサンドリア（以下アレキ）の栽培を開始した。高品質で人気を博し、ピークの平成９年には10億４千万円の販売額を達成したが、景気後退等により販売額は６割ほどまで低迷した。そのような中、アレキより省力的に栽培できるシャインマスカットにいち早く着目し、導入・拡大を進めた。アレキで培った栽培技術を生かして高品質を求める消費者ニーズに対応した生産、ブランド強化に努めたことなどから、令和３年の販売額はピーク時に匹敵する９億６千万円となり、経営のＶ字回復を遂げた。

受賞者の特色

（１）アレキで培った高い栽培技術をシャインマスカット栽培に応用

アレキの施設栽培で培った早期加温技術をシャインマスカットにも応用し、休眠覚醒前の12月に加温を開始しても、発芽不良や花穂の減少を抑えられる作型を確立している。また、独自技術として全面堆肥マルチを実施し、樹勢強化や果粉の増加による外観向上につなげている。

（２）ＪＡ一元出荷体制による有利販売・ブランド向上

昭和55年にＪＡ統一の検査体制へいち早く転換し、ＪＡ一元出荷を実現している。県内ＪＡから出荷されるシャインマスカットの中でも品質の高いものを生産しており、ブランド強化や販売価格上昇に貢献している。

傾斜地でハウス栽培のシャインマスカット

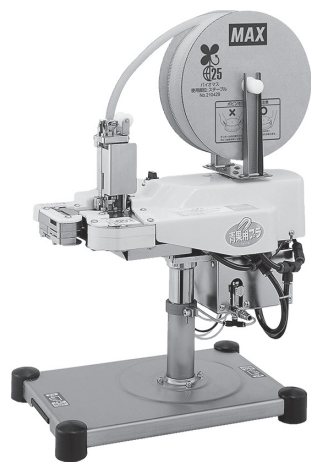
普及性と今後の発展方向

ぶどうの高い生産技術に基づく高単価販売によって経営が安定し担い手の確保は順調である。今後も就農希望者が参入しやすい環境づくりを推し進め、技術継承と産地の強化を図っていく。天敵利用による農薬削減やヒートポンプの導入等による環境負荷の低減にも努めていく。

マックス
バイオマスプラステープル発売

マックス㈱は、青果物用の袋とじ機「エアパックナー」の専用結束ステープルとして、バイオマスプラスチックを26％配合した「バイオマスプラステープル」を、包装資材店を通じて８月より販売している。

「エアパックナー」は、野菜や果物を袋・ネット詰めしてスーパーなどへ出荷する「パックセンター」を中心に導入されている。従来の専用結束ステープルには石油由来のプラスチックを使用していたが、地球環境の保全に貢献するため、バイオマスプラスチックを配合した専用結束ステープルを新たに開発してラインアップに追加した。本製品には、デンプンや糖などの植物由来のイソソルバイドを用いたバイオマス素材ＤＵＲＡＢＩＯを26％配合し、環境負荷を軽減しながら従来製品と同等の結束力を保持している。希望小売価格は、ボビン１巻・１２、０００本入りで１６、０００円（税込１７、６００円）。



袋とじのエアパックナーにセットしたバイオマス　プラステープル

研園 品種 新

ミニトマト「かむり」

園芸植物育種研究所
研究開発部育種２科
トマト担当　角田鈴奈氏

黄化葉巻耐病性 単為結果性品種

この品種の育種目標ですが、まずは単為結果性品種であることを一番重視し、二番目に黄化葉巻耐病性を付与することでした。当初はすでに発表されている園研の「べにすずめ」に耐病性をつければいいのかなと考えていましたが、それとは違う特徴を持たせることにしました。そこで３つ目は長期栽培に向くことを考えました。

「べにすずめ」は第１果房から着果量がものすごく多くて短期栽培にはいいのですが、長期栽培にはあまり向かないと言われることが多かったために、そういうことがないようにしました。

そして、「べにすずめ」が着果負担などでストレスがかかると果実が縦長になってしまったりすることがあるので、果実の形をより丸くすることです。そして最後がヘタを肉厚にして収穫後の巻き上がりを少なくすることで、私がいちばんこだわった点です。スーパー等でヘタの部分が干上がっているものを見かけることがあるかと思いますが、ヘタもきれいに見栄え良くすることを考えて育種を行いました。

ヘタまで美しいミニトマト

特徴・注意点

①耐病性　耐病性は「べにすずめ」とほぼ同等で、それに黄化葉巻病の耐病性（イスラエルとマイルドの両系統）をつけています。しかしながら耐病性品種といえども０・４ミリ以下の防虫ネットを展張したり、黄色粘着版やテープを施設内や周辺部に設置するなどの防除対策を行って下さい。また発病株はすぐに抜き取って処分して下さい。そしてコナジラミが生息・増殖場所となるハウス周辺及び内部の雑草はこまめに除去して下さい。

②草姿　草勢は中程度、葉は小葉で節間は短いです。密植栽培にも向くのではないかと考えています。

③果房の様子　「かむり」は木を作りながら果実をつけて行くような品種になっているので、長期栽培に向いており、「べにすずめ」は最初からたくさん実がつくので短期栽培向きです。どちらもメリットがあるので皆様の作型で使い分けしていただければと思います。

④果実外観　きれいな球形でヘタが短く肉厚になっています。収穫したあと２００㌘のパックに入れて10℃で貯蔵し、７日経ってもヘタの巻き上がりも無く水分だけ抜けたような状態なので見栄えがいいです。その当たりを魅力と感じていただければと思います。

労力や経費の削減効果も

単為結果性について

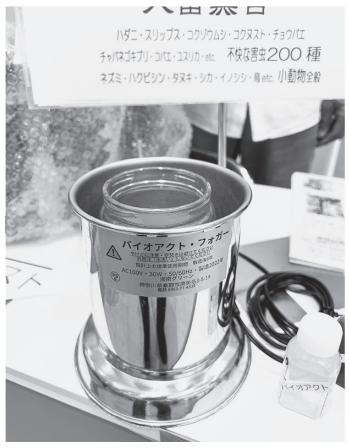
単為結果性とは受粉や受精なしに果実が肥大する性質のことをいいます。ハチやホルモン処理の必要が無くて花が咲けば実になるので労力や経費の削減が出来るとともに生産の安定化を図ることが出来ます。さらには品質の向上を目指すことが出来たり、経営規模を拡大なども目指すことが出来るのではないかと思います。

最後に園研のミニトマトを紹介します。単為結果製品種は高温でも低温でも安定して着果し、現在「ネネ」、「CFネネ」、「べにすずめ」、「かむり」の４品種ありますが、経済栽培に向けた品種としては短期栽培向けの「べにすずめ」、長期栽培向けの「かむり」があり、いずれも食味には自信を持っていますので、ぜひ栽培していただきたいと思います。なお、リニューアルした園研のホームページで単為結果性について記載していますのでご覧下さい。

長期栽培向きの「かむり」

湘南グリーン

害虫・小動物の忌避効果 バイオアクトフォガー



湘南グリーン（神奈川県秦野市南矢名３―５―18）はネズミ、ハクビシン、コガネムシなどの害虫や小動物が寄りつかない人畜無害の「バイオアクトフォガー」という加熱蒸散器を販売中だ。これは同社で販売しているニームオイル「バイオアクトJS」と、㈲木紅木（福島県いわき市）の木酢液「キクノール」を混合することで、「薬散回数が半減、天敵不要、手間いらず」といった大きな効果が得られるという。蒸散器の容量は１㍑・30坪／台で、AC１００V／33W、価格は13，０００円。

使い方は、バイオアクトJS（１㍑13，０００円）とキクノール（１㍑１，５００円）をそれぞれ33㎖で30倍液（１㍑）を作り、バイオアクトフォガーのタイマーをセットして自動蒸散させる。毎日５時間の使用で約１週間使えることが出来、毎日使って１リットルの原液で約７か月使える。イチゴハウスのダニ・スリップス、トマトハウスのコナジラミ、倉庫等のネズミ・ゴキブリ等々、様々なケースに対応する。またニームオイルは人の健康を損なう恐れのない物質だし、ハウス資材も劣化することはないので安心して使うことが出来る。詳しい問合せは湘南グリーンへ。（電話&FAX／０４６３―７７―４５３９）E-mail mikaranu9@gmail.com

---

村田種苗店 村田賢史氏が代表取締役に

愛媛県で野菜・花の種子、苗、肥料を販売している㈲村田種苗店（松山市土橋町14―７）は、７月26日付けで村田喜信社長が退任し、後任として村田賢史氏（村田農場社長）が代表取締役に就任した。村田喜信前社長は取締役会長として引き続き社業の発展に努める。

OS交配　この夏・秋の定番実力品種!!
最高品質・シャリッとおいしく食感抜群

バランス良い耐病性品種
かっぱん強し

ゆうみ（結実）637
1月～3月まき用

エクセレント620
1月～10月まき用

ちなつ PVP 第20749号
1月～8月まき用

席巻普及実力品種

恵の風
1月～8月まき用

エクセレント節成
1号　7月～9月まき用
2号　1月～8月まき用
353　1月～8月まき用

相性ひったり、バランス OK
OS交配 ブルームレス台木

複合耐病性品種
ウドンコ・褐斑・ベト病に強い

まりん
1月～8月まき用

ニーナ

ニーナZ（ゼット）
Zはニーナより草勢強め
周年栽培可能

かねそなえ
兼備1号
8月～9月及び
12月中旬以降2月まき用

かねそなえ
兼備2号
1月中旬～8月中旬まき用

はやか
2月～7月まき用

ゆうしょう
勇翔
6月～2月まき用

ゆうゆうー輝 黒タイプ 白タイプ
オールスターー輝
FGY
RK-3

ハウス・露地　全作型　オールシーズン適応。
立地条件や草勢のバランスを考慮し、穂木とのバランスを整えます。
ブルーム台木も、全作型に適応できますように揃えております。
詳しくは弊社にお問い合わせください。

きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地
TEL：0480-85-0854（代）　FAX：0480-85-0407

OS 交配種子 発売元
株式会社 シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地
TEL：0480-85-7211（代）　FAX：0480-85-0407

農水省

グリーンな栽培体系を学ぶ オンラインセミナー開催

農林水産省は「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、農業現場での実践や拡大を目的とするオンラインセミナーを10月26日（水）に開催する。

「総合的病害虫管理（IPM）と天敵利用」、「緑肥等の有機物による土づくりと化学肥料代替」の講演のほか、「グリーンな栽培体系への転換サポート事業」を取り組んでいる各産地の取組状況を発表する。

開催趣旨

「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、農業現場での実践や拡大を目的として開催され、「総合的病害虫管理（IPM）と天敵利用」では、総合的病害虫管理（IPM）の基本的な考え方と、露地および施設での天敵利用方法を紹介する。また「緑肥等の有機物による土づくりと化学肥料代替」では、土づくりに役立つ緑肥の効果と、後作物の減肥につなげるためのポイントを紹介する。今回のセミナーを通して、各産地の取組状況について知ってもらい、「グリーンな栽培体系」についての理解を促進させる。

開催日時

10月26日（水）13時～16時10分

プログラム

(1)講演「総合的病害虫管理（IPM）と天敵利用」農研機構 植物防疫研究部門 作物病害虫防除研究領域 領域長 長坂幸吉氏
(2)産地発表（福井県、愛知県）
(3)講演「緑肥等の有機物による土づくりと化学肥料代替」農研機構 中日本農業研究センター 温暖地野菜研究領域 有機・環境保全型栽培グループ グループ長補佐 唐澤敏彦氏
(4)産地発表（滋賀県、兵庫県）

申込み方法

参加QRコードを読み取るか、URL（https://hubs.ly/Q0112NBN0）からサイトにアクセスし、必要項目を記入する。当日までに、視聴用URLが送られてくる。

お申込みフォームQR

申込締切

10月19日（水）